



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橘通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL：0985(38)8821
FAX：0985(38)5028

表紙の「かえるっちゃんが！働き方」は、①働き方を変える、②家に早く帰る、③県外から宮崎に帰る、という意味を込めています。



平成31年度の宮崎労働局は働き方改革の推進による労働環境の整備・生産性の向上等を図ります。

●改革による労働環境の整備、生産性向上の推進

①改革に取り組む中小企業・小規模事業者等に対する支援

みやざき働き方改革推進支援センターにおいて、長時間労働の是正、同一労働同一賃金、生産性向上による賃金引上げ、人材不足対

働き方改革を推進

超強力に

平成31年度 宮崎労働局行政運営方針

応について、相談対応やセミナー開催によって企業を支援します。

②労働関係助成金活用による支援
改革に取り組む会社に対して多種多様な助成金で支援します。

③労働時間法制の見直しへの対応
事業主に対して法制度の周知を図り、特に中小規模の事業場に対して、きめ細かな相談・支援を行います。

④長時間労働の抑制等
過重労働が行われているおそれのある事業場に対して適正な労働時間管理及び健康管理に関する窓口指導、監督指導等を徹底します。

⑤雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

パートタイム・有期雇用労働法、改正労働者派遣法及び無期転換ルールの円滑な施行に向けて導入支援を行います。

●人材確保支援や多様な人材の活躍促進、人材投資の強化

①男女ともに働きやすい環境整備
職業訓練の充実、求人と求職者のマッチング、職業生活と家庭生活の両立支援等を行

主な取り組み

います。

②多様な人材の活躍促進
外国人材の受入れの環境整備や障害者・高齢者の就職支援を強化します。また、若者の県外流出や早期離職を防止するため、自治体や学校などと連携し県内企業の魅力をより多くの学生に伝えていきます。

31年度運営方針策定を承認

平成30年度第2回宮崎地方労働審議会開く

行政運営方針を説明する吉田局長



その後事務局から方針について、特に「働き方改革」を大きな施策として取り上げていることから、中小企業・小規模事業者等に関する支援や、労働時間法制の見直しへの

の対応などを説明しました。

また、委員からは「人材確保は行政、企業が一体となって改善していく努力が必要」「36協定の締結状況の確認はもちろん、届け出内容が守られているかチェック機能を果たしてほしい」「ハラスメント対策の強化を希望する」などの意見がありました。

宮崎労働局は、3月15日に第2回宮崎地方労働審議会を開催し、平成31年度宮崎労働局行政運営方針について承認を得ました。

冒頭、吉田局長は「働き方改革の実現に向けた関係法律が来月4月1日から順次施行されることから、局・署所を挙げて周知に全力を尽くしてまいります」と挨拶しました。

働き方改革関連法の周知を要請

3月5～11日にかけて岡本労働基準部長は、県内の経営4団体を訪問。4月から順次施行される働き方改革関連法の円滑な施行に向けて、働き方改革推進支援センターや労働基準監督署の労働時間相談・支援班による個別相談支援の利用勧奨、時間外労働等改善助成金の活用など、傘下事業場に対する周知、呼びかけを要請しました。



宮崎県商工会連合会の奥野専務（右）へ要請する岡本基準部長

働きやすい職場をめざして

働き方ワークショップを開く

それぞれの意見を付箋紙に書き出してボードに張り付けて検討する参加者



3月6日、宮崎労働局は宮崎合同庁舎において、「第2回働き方改革ワークショップ」を開催しました。これは、各会社からの参加者にワークショップ（WS）の手法を習得していただき、それぞれの会社でWSを実践していただくという企画です。

WS参加者は業種も規模もバラバラな企業の11人。2班に分かれ、それぞれ宮崎労働局の働き方・休み方改善コンサルタントが進行役を務めました。

働き方改革に対して参加者の意

保育の仕事 興味ないですか？

ハローワーク宮崎は、1月～3月まで実施中の「保育士確保集中取組キャンペーン」の一環として3月5日にハローワークプラザ宮崎にて、保育の面接相談会を実施。7事業所が、それぞれの特色等をPRしたのち、19名の参加求職者と個別に相談を行い、当日の応募は3件、後日の事業所見学も予定されています。



仕事内容や条件を熱心に相談



識は高く、今回のWSでは、「働きやすい職場を目指して」をテーマに問題点をグループみんなで洗い出し、その原因を探索し、問題解決に向けた取組を検討しました。

人手不足や意識改革、コミュニケーション不足など多様な事項について、ときに笑いあり、ときに感嘆ありの議論となりました。参加者の皆さ



若者の県外流出STOP!

宮崎県と運営を協議しました

宮崎労働局は3月14日、宮崎県と締結している雇用対策協定の各施策の実施状況の確認と、次年度に向けての実施計画を検討する運営協議会を開催しました。

今回の協議会では、若者の県外流出をはじめとする、地域における雇用分野の様々な課題に引き続き共同して取り組むことに加え、今後は宮崎県が抱える新たな課題への対応も検討を進めることを確認し、平成31年度の実施計画が策定されました。



んからは、悩みや情報の共有ができてよかったという声がありました。

今回学んだ手法を参考に、それぞれの職場環境改善に取り組んでいただければ幸いです。

みやざき春フェア開く

地元宮崎で就職しませんか

多くの人に参加したサミットホール



宮崎労働局は3月20日、宮崎市シーガイアサミットホールにおいて「2019みやざき春フェア～県内企業・自治体の情報満載～」を開催しました。大学生等1～3年生の職業理解や業界研究及び31年3月大学等・高校卒業者及び一般求職者への就職支援を目的とし、約130社の県内企業と直接交流する貴重な機会となりました。各企

業は、自社のブースの装飾に力を入れたり、学生等に直接声掛けをするなど積極的にPRを行いました。

参加した学生等からは「数多くの県内企業と触れ合い貴重な説明会となった。県内就職も視野に入れ、今後の就職活動を進めていきたい」との感想が寄せられました。

また、企業側からも「多くの学生と出会えてよかった」等の声があり、参加者、企業ともに満足度のいくフェアとなりました。